

FT-仕様-13009-D

2026年4月1日

気密防水材
「ダンシール-LT」
仕様書

古河電工パワーシステムズ株式会社

株式会社古河テクノマテリアル

1. 製品概要

本製品は、電気室のケーブル多条敷設場所等での防水・防ガスを目的とした 2 液混合型の気密防水材で、硬化後は、硬いゴム状になります。

低粘度で流動性に優れ、細かな隙間に充てんしやすく、また可使時間も長いので、施工作业に時間がかかる場合(複数個所に分けて充てんする場合や狭い箇所に少しずつ流し込む場合など)に適します。

2. 性能

2.1 混合前の特性値

本製品の混合前の主な特性値を表-1 に示します。

表-1 混合前の特性値(代表値) (25℃)

| 種類 | 比重 | 粘度(Pa・s) | 色 | 状態 |
|-----|-----|----------|--------|-----------|
| 基剤 | 1.5 | 10 | ダークグレー | 粘性のある液状 |
| 硬化剤 | 1.0 | 0.1 | 茶色透明 | やや粘性のある液状 |

2.2 基剤と硬化剤の混合時の注意事項

- ・ 混合する際に異物等が混入しないようにしてください。
- ・ 配合比を間違えると、特性が変わり、硬化しない場合もありますのでご注意ください。
- ・ 1セットを小分けして使用する場合は、基剤を予め 2～3 分攪拌した後、配合比(質量比)が[基剤 5:硬化剤1]になるよう、別の容器に計り取ってから使用してください。
- ・ 攪拌には、できるだけ電動攪拌機をお使いください。
- ・ 基剤をあらかじめムラのないよう、電動攪拌機を用いて 2～3 分攪拌してください。
- ・ 低温になると粘度が高くなり、攪拌が困難な場合があります。このような場合は、缶を温風・湯等で 20～30℃に温めてから使用してください。(※直火厳禁)
- ・ 硬化剤投入後は、速やかに、缶底まで届く電動攪拌機を用いて 5～6 分間、全体を攪拌してください。
- ・ 缶底面および缶の側壁は、硬化剤が混ざりにくいことがありますので、攪拌途中で 1～2 回、缶底まで届く棒やヘラで缶底面および缶の側壁の液を掻きだし、全体が均一な色となるよう、充分に混合してください。
- ・ 攪拌不足の場合、硬化不良になる恐れがあります。

2.3 混合物(液状)の特性値

本製品の混合物(液状)の主な特性値を表-2 に示します。

表-2 混合物(液状)の特性値(代表値) (25℃)

| 配合比 (質量比) 基剤:硬化剤 | 混合 初期粘度 (Pa・s) | 可使用時間の目安※ (分) | | 硬化時間の目安※ (時間) | |
|------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------------|-------------------------|
| | | 低粘度状態 (30Pa・s 以下) | 高粘度状態 (100Pa・s 以下) | 半硬化時間 (固まって流れな くなる時間) | 硬化時間 (十分に硬化 する時間) |
| 5 : 1 | 2.5 | 25 | 50 | 2 | 48 |

※ 温度が高くなると硬化が早くなり、低くなると硬化が遅くなります。

2.4 硬化物の性状および主な特性

本製品の硬化物の性状および主な特性をそれぞれ表-3、表-4 に示します。

表-3 硬化物の仕様

| 項目 | 仕様 |
|----|-----------|
| 色 | ダークグレー |
| 材質 | ポリウレタン系樹脂 |
| 状態 | 硬いゴム状 |

※経年変化で多少黄色く変色(黄変)する場合があります。

表-4 硬化物の特性(代表値)

| 項目 | 試験方法 | 代表値 ^(※1) |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 絶縁性 (体積固有抵抗) | SM-10E 絶縁抵抗計 | $10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$ |
| 硬度 | JIS K 6253-3 参照 | 50(デュロメーター硬さ A) |
| 引張強さ | JIS K 6251 参照 | 2.7MPa |
| 引張接着強さ 【コンクリート】 ^(※2) | 建研式 接着剥離試験機 | 0.5MPa |
| 引張接着強さ 【鉄板】 ^(※2) | | 0.4MPa |
| 伸び率 | JIS K 6251 参照 | 100% |
| 酸素指数 | JIS K 7201-2 参照 | 34 ^(※3) |
| 耐油性 | JIS K 6258 参照 潤滑油 70°C × 7 日間 | 異常なし |
| 耐水性 | 70±2°Cの水道水 7 日間 浸漬後、目視観察 | 異常なし |
| 比重 | JIS K 7112 参照 (水中置換法) | 1.4 |
| 熱伝導率 | JIS R 2616 参照 | 0.50W/m・K |

(※1)数値は代表値であり保証値ではありません。代表値は予告無く変わることがあります。

(※2) 充填部の接着性をより高めたい場合は、ポリウレタン系樹脂と接着面の材質に応じたプライマーの使用をご検討ください。

(※3) 【参考】消防法で難燃性材料とされる数値は 26 以上となります。

2.5 硬化後の注意点

硬化後は、日光が当たらないよう配慮してください。

使用環境温度が高温になると劣化しやすくなります。(推奨:60°C以下)

3. 品番および構成材料

本製品の品番および仕様を表-5 に示します。

表-5 品番および仕様

| 種類 | 品番 | 正味質量(kg) | | 配合比率 (質量比) 基剤:硬化剤 | 硬化物の色 |
|-----------|--------|------------------|------------------|-------------------------|--------|
| | | 基剤 | 硬化剤 | | |
| 5 kg セット | DLT-5 | 4.17 (約 2.80) | 0.83 (約 0.80) | 5 : 1 | ダークグレー |
| 20 kg セット | DLT-20 | 16.67 (約 110) | 3.33 (約 30) | | |

4. 梱包

本製品の梱包仕様を表-6 に示します。

表-6 梱包仕様

| 種類 | | 容器形状 | 寸法(mm) [※] |
|-----------|-----|------|---------------------|
| 5 kg セット | 基剤 | 丸缶 | 166 φ × 210H |
| | 硬化剤 | 角缶 | 63W × 117L × 165H |
| 20 kg セット | 基剤 | ペール缶 | 305 φ × 365H |
| | 硬化剤 | 角缶 | 110W × 150L × 232H |

※缶のふたの突起、取っ手部分を除いた寸法です。

5. 注意事項

5.1 保管時の注意事項

- ・ 風雨や直射日光を避けて室内または冷暗所(倉庫など)で保管してください。
- ・ 有効期限は、製造日から1年です。
- ・ 一度開缶したものは、できるだけ早くご使用ください。

5.2 廃棄

廃棄される場合には、安全データシート(SDS)をご請求頂き、各地方自治体の規則に従って適切に廃棄してください。

6. その他

本仕様書記載の内容は、製品改良などのため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上